ガス小型湯沸器 元止め式

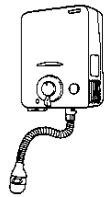
取扱説明書

商品コード
33-063型

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス小型湯沸器をお買い上げいただき、ありがとうございます。

安全に使用していただくために、本機器を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで使用してください。

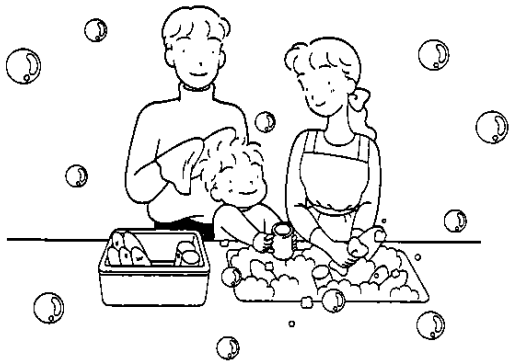


○この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

○別添の保証書は、記載してあるお買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。

型式名	YR532



大阪ガス

TB55

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

大阪支社	〒550	大阪市西区千代崎3-2-95 ☎06（586）3200
南部支社	〒590	堺市住吉橋町2-2-19 ☎0722（38）1131
北部支社	〒569	高槻市藤の里町39-6 ☎0726（71）0361
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2-3-17 ☎0729（62）1131
兵庫事業本部	〒650	神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎078（360）3100
京都支社	〒600	京都市下京区中堂寺粟田町1番地 ☎075（311）7381
奈良支社	〒631	奈良市学園北2-4-1 ☎0742（44）1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1-5 ☎0734（31）2481
兵庫西支社	〒670	姫路市神屋町4-8 ☎0792（85）2221
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6-57 ☎0796（23）2221
滋賀支社	〒525	草津市西大路町5-34 ☎0775（62）5311
滋賀東支社	〒522	彦根市大東町12-11 ☎0749（22）3131
長浜営業センター	〒526	長浜市南呉服町3-4 ☎0749（62）7171
本社・ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市中央区平野町4-1-2 ☎06（202）2221

大阪ガス株式会社

おねがい ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガス支社またはサービスショップに連絡してください。

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

☆誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの三つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる内容を表しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者および購入者から機器を譲渡された人なども含みます。

☆注意事項の絵表示と意味はつぎのとおりです。

絵表示	意味
	上記表示項目を守らなかった場合に起こりうる現象を表します。
	一般的な「危険」・「警告」・「注意」
	高温注意
	発火注意
	一般的な禁止
	火気禁止
	分解禁止
	接触禁止
	必ず行う

もくじ

もくじ　ページ

特に注意していただきたいこと ・・・ 1〜7

1. 使用前に
- 各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・ 8

2. 使いかた
- 初めて使うとき ・・・・・・・・・・・・ 9〜10
- お湯の出しかた・止めかた ・・・・・ 11〜12
- 熱湯の出しかた・止めかた ・・・・・ 13〜14
- 水の出しかた・止めかた ・・・・・・・・ 15
- 凍結予防のしかた ・・・・・・・・・・・ 16

3. 点検・お手入れ、他
- 点検・お手入れ ・・・・・・・・・・・ 17〜18
  - ・点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
  - ・お手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
- 故障かな？と思ったら ・・・・・・・ 19〜20
- 安全装置のはたらき ・・・・・・・・・・ 21
- アフターサービス
- 仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 22〜23

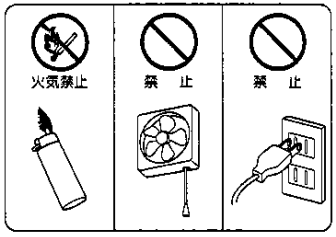
特に注意していただきたいこと

⚠ 危　険

■ガス漏れ時の処置について

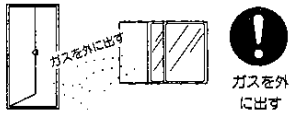
ガス漏れに気付いたときは、右記①～③の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具(換気扇など)のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。



① すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。

② ガスを外に出す。(窓や戸を開ける。)



③ 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

※周辺の電話は使用しないでください。

⚠ 警　告

- 機器の設置・移転および付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。

思わぬ事故の原因になります。

- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。
- 閉めきった室内で使用しない。

※特に冷暖房中は注意してください。

一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 警　告

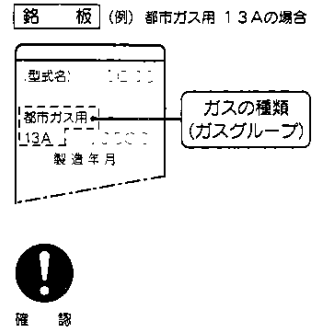
- 必ず銘板（機器の右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。

火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

- 転居された場合も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。

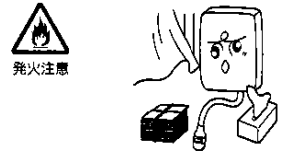
※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



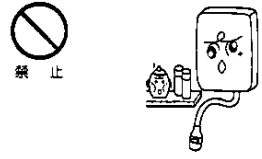
- 機器の上や周囲に燃えやすいもの（新聞紙、ティッシュ、カーテン、ふきんなど）を近づけない。

火災のおそれがあります。



- 機器の周囲にスプレー缶を置かない。

熱でスプレー缶の圧力があがり爆発するおそれがあります。



- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）を機器の周囲で保管したり、取り扱う室内には設置しない。

火災のおそれがあります。

- 機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を取り付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。

火災のおそれや設置基準上問題になるおそれがあります。

特に注意していただきたいこと

⚠ 警　告

- 火をつけたまま離れたり、外出・就寝しない。

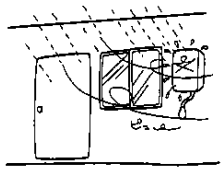
火災・一酸化炭素中毒のおそれや思わぬ事故の原因になります。

禁　止

- 屋内用機器のため、屋外には絶対に設置しない。

風による火災や故障の原因になります。

禁　止



■ガス接続がゴム管の場合

- ひび割れたり、差し込み口がゆるくなったゴム管は使用しない。

禁　止

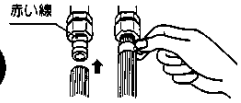
- ゴム管の継ぎたしや二又分岐はしない。

禁　止

- ゴム管はガス用ゴム管（検査合格品またはJISマークの入っているもの）を使用する。

※ゴム管には都市ガス用とLPガス用がありますので使用ガスに合ったゴム管を使用してください。

- ゴム管は赤い線まで差し込んで、必ずゴム管止めでしっかり止める。



- ガス用ゴム管は定期的に（約6ヶ月ごと）点検し、ひび割れたり差し込み口がゆるくなったゴム管は交換する。

ガス漏れの原因になります。

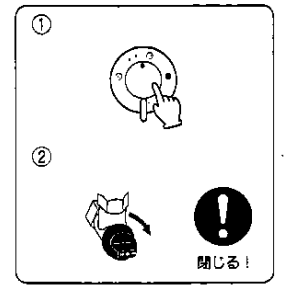
⚠ 警　告

- 使用中に異常燃焼、異臭、異常音、異気など感じられたときや地震、火災などの緊急の場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

①プッシュボタンを押し、消火する。

⇩

②ガス栓を閉じる。



- 再使用するときは、9ページからの「使いかた」の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

- 蒸気が激しく出るような状態では使用しない。

※ガス量調節ハンドルを蒸気の出ない位置までもどして使用してください。

※熱湯使用時は、湯出口管が振れる場合がありますので特に注意してください。

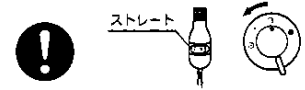
やけどのおそれがあります。

禁　止

- 高温や熱湯で使用するときは、切替ボタンをストレートにして使用する。
- 熱湯を使用された後は、ガス量調節ハンドルを「小」の位置ぐらいまでもどす。

※小さなお子さまのいるご家庭では、ガス量調節ハンドルを「水」の位置までもどしてください。

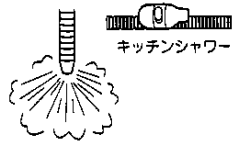
やけどのおそれがあります。



- キッチンシャワーをはずして使用しない。

熱湯を使用すると、お湯が周囲に飛び散りやけどのおそれがあります。

禁　止



- 高温や熱湯での使用中、使用直後は湯出口管周辺が熱くなっているため、操作部以外手を触れない。

やけどのおそれがあります。

接触禁止

特に注意していただきたいこと

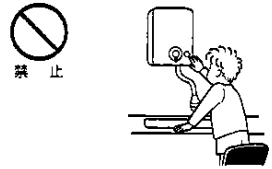
⚠ 警　告

- 使用中、水圧の変化でお湯の温度が変わることがあるため、お湯の温度には十分注意して使用する。
- お湯を一度止めて再び使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがあるため、十分注意して使用する。

やけどのおそれがあります。

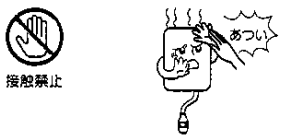
- 小さなお子さまだけで使用させない。

やけどのおそれがあります。



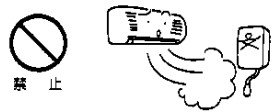
- 使用中、使用直後は排気口やのぞき窓周辺が高温になっているため、操作部以外は手を触れない。

やけどのおそれがあります。



- 機器にエアコンなどの風を直接当てない。

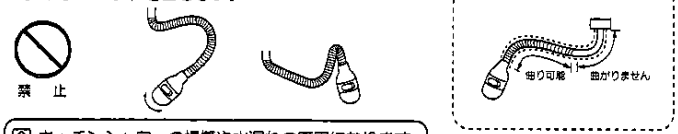
爆発点火や炎あふれの原因となり、機器の周囲に燃えやすいものがある場合、引火するおそれがあります。



機器の周囲には絶対に燃えやすいものを置かないでください。

⚠ 注　意

- 無理に出湯管を曲げたり、ねじれを加えたり、シャワーヘッドを回さない。

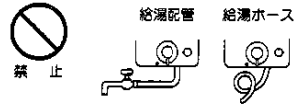


キッチンシャワーの損傷や水漏れの原因になります。

⚠ 注　意

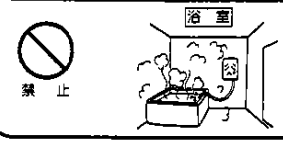
- この機器は元止め式のため、給湯配管（先止め配管）や給湯ホース接続は絶対にしない。

やけどや機器損傷のおそれがあります。



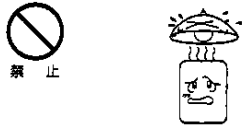
- 台所や洗面所など、機器を設置している場所でお湯を使用すること以外の用途に使用しない。
- おふろへの給湯など、長時間連続の給湯は絶対にしない。

一酸化炭素中毒のおそれがあります。



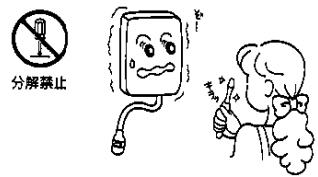
- 機器の排気口周辺に加熱されて困るもの（耐熱性の低い樹脂製品、照明器具など）を置かない。

照明器具などが変形したり、変色したりします。



- 機器の分解は絶対にしない。

やけど・けが、故障の原因になります。



- 凍結予防の水抜きは機器が冷めてから行う。

高温のお湯が出て、やけどのおそれがあります。

- 機器の中や機器と壁とのすきまに手や棒などをいれない。

やけど・けが、故障の原因になります。

- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。

お手入れ方法は、17・18ページの「点検とお手入れ」を参照してください。

特に注意していただきたいこと

お　願　い

危険・警告・注意の項目以外で特に守っていただく項目

■ガス事故防止のために
- 使用時の点火、および使用後の消火を必ず確かめてください。
- 使用中も正常に燃焼していることを確かめてください。
- 外出や就寝の際には消火を確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。

■凍結予防と凍結時
- 外気温が低い場合は、必ず凍結予防を行ってください。

※凍結予防方法は16ページの「凍結予防のしかた」を参照してください。
- 万一、凍結した時は解凍するまで使用できません。

※解凍後は、機器や配管の水漏れがないことを確認してから使用してください。

■補助具について
- この機器専用の付属品あるいは、別売品以外は使用しないでください。（乾電池は除く）
- 市販されている補助具などは使用しないでください。

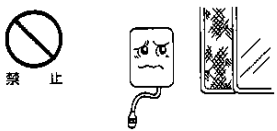
思わぬ事故や故障の原因になります。

■長期間使用しない場合は
- ガス栓・給水元栓を閉じてください。
- 16ページの「凍結予防のしかた」に従い水抜きを行ってください。
- 各部の汚れを取り除いてください。
- 乾電池を乾電池ケースから抜いてください。

乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

- 機器の後や周辺に網戸がある場合は、直接機器に風が吹きつけない離れたほうの窓を開けて使用してください。

網戸を破損するおそれがあります。



- 本機器は家庭用です。

業務用のような使用頻度の高い使いかたをすると著しく寿命が短くなります。この場合の修理は有料となります。

- 飲用に使用する場合、機器内に長時間たまった水や朝一番に使用するお湯は飲用や調理用に使用しないでください。

■乾電池の交換について
- 乾電池の⊕、⊖の方向を間違えないでください。

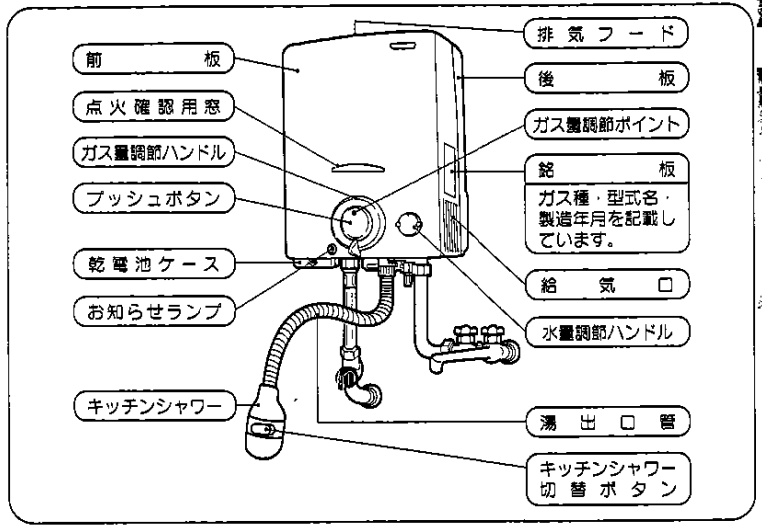
機器を使用できなくなります。

- 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。

破裂や液漏れの原因になります。

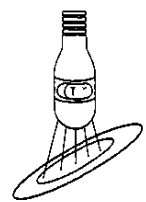
1 使用前に 各部のなまえ

各部のなまえ



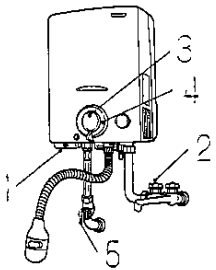
特　長

- **消し忘れ防止装置付**
  「つい、うっかり」消し忘れた場合（約20分）自動的に消火します。（水は止まりません。）
- **お湯が飛び散りません**
  キッチンシャワーでお湯が飛び散りません。
- **水道栓として使えます**
  お湯・熱湯・水がすべてワンプッシュでOK！水量調節もできます。

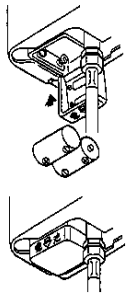


2 初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。
次の手順で行ってください。

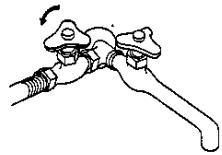


1 左下部の乾電池ケースふたを押し下げて、電池を取り付けます。

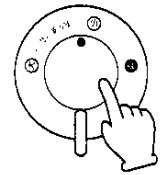


- 乾電池（単1形、1.5V、2個）を取り付け、元どおりに電池ケースふたを閉じます。

2 給水元栓を開けます。

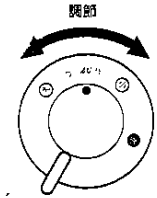


3 プッシュボタンを押し水が出ることを確認します。

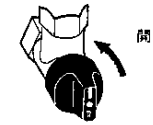


- お知らせランプが点灯します。
- 確認したらもう一度プッシュボタンを押して水を止めます。

4 ガス量調節ハンドルを「小」～「大」の中間に合わせます。



5 ガス栓を全開にします。



お願い

乾電池について

- 乾電池を入れるときは、⊕⊖の方向に注意してください。
（奥の乾電池は右側が⊕、手前の乾電池は左側が⊕です。）

⊕⊖を逆にして入れると、機器を使用できません。

- 乾電池の交換は2個とも新しい同種のものにしてください。

新旧、異種の乾電池を使用すると乾電池が破裂したり、液漏れする原因となります。

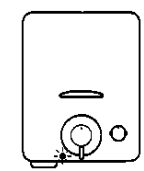
お知らせランプについて

次のようなとき、機器の左下にあるお知らせランプが点灯します。
（出湯操作時に点灯します。）

①乾電池の交換が必要なとき。
P9「初めて使うとき…」

②ガス栓が閉まっているとき
P10「初めて使うとき…」

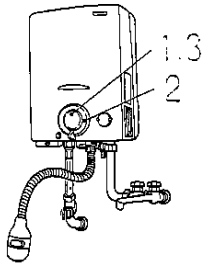
③安全装置が作動したとき
P21「安全装置の種類とはたらき」



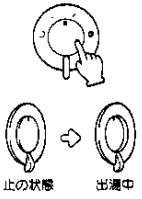
お知らせランプ

2 使いかた お湯の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

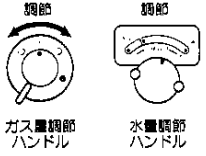


1 プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



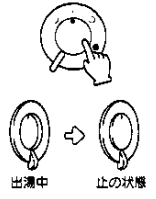
- パチパチとスパーク音がして点火し、キッチンシャワーよりお湯が出ます。
- 配管内に空気が入っていて点火しにくいときは、空気が抜けるまで、点火操作を繰り返してください。
- 点火してから約20分で機器は自動消火します。（水は止まりません。）
  …消し忘れ防止装置

2 ガス量調節ハンドルの「小」～「大」の間で調節します。水量調節ハンドルの「小」～「大」の間で湯温を調節します。



- 夏期など水温が高く水量調節ハンドルを「大」側にしても、まだお湯が熱すぎるときは、ガス量調節ハンドルをまわし「小」にしてください。ガス量が少なくなり、お湯はぬるくなります。
- 冬期など水温が低くて水量調節ハンドルを「小」側にしても、まだ十分お湯が熱くならないときは、ガス量調節ハンドルをまわし「大」にしてください。ガス量が多くなり、お湯は熱くなります。

3 使用後は、プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



- キッチンシャワーよりお湯が止まります。
- 使用後は必ず、点火確認用窓で消火を確かめガス栓を閉めてください。

キッチンシャワーの使いかた

- 切替えボタンの
  - 印を押せば、ストレート出湯になります。
  - 印を押せば、シャワー出湯になります。

ストレート出湯

シャワー出湯

- お皿などを洗うときは、シャワーで使用するとお湯のとび散りがなく便利です。

⚠警告

やけどに注意

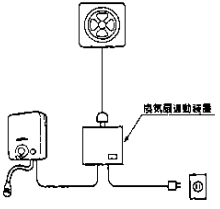
- お湯を一度止めて、再び使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがありますので、少し待ってから使用してください。
- 蒸気が激しく出るような状態で使用しないでください。蒸気の出ない位置までガス量調節ハンドルをもどしてください。
- 高温・熱湯のとき、シャワー出湯はしないでください。
- 使用後、小さなお子さまのいる家庭では、ガス量調節ハンドルを「水」の位置にしてください。

お願い

- ガス栓・給水元栓を操作しての点・消火は、絶対にしないでください。
- お湯を止めても、湯出口管の向きによっては、数秒間お湯が少量出ることがあります。こんなときは、湯出口管の先をお湯が真直ぐに出るように下向きにすれば、少なくなります。

換気扇連動装置の使いかた（別売品）

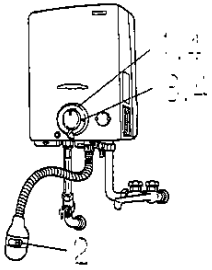
換気扇連動装置を使用すると、機器の点火・消火に連動して換気扇が回り、室内を換気します。
換気扇連動装置は別売品ですので、お買い上げの販売店に相談してください。



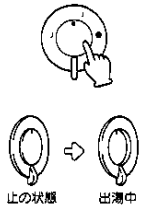
1. 換気扇連動装置の電源プラグをコンセントに差し込みます。
2. プッシュボタンの中央部を奥まで押します。
3. 機器と連動して換気扇が回ります。

2 熱湯の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。



1 プッシュボタンの中央部を奥まで押します。

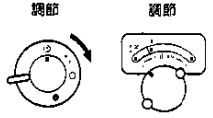


2 キッチンシャワーをストレート出湯に切り替える。

切替スイッチ を押すと

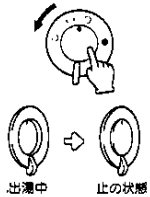
ストレート出湯

3 ガス量調節ハンドルを「大」にします。水量調節ハンドルを「熱湯」にします。



- キッチンシャワーより熱湯がでます。

4 使用後は、プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



- キッチンシャワーよりお湯が止まります。

お願い

- 使用後はガス量調節ハンドルを「小」～「大」の間に戻してください。

⚠警告

やけどに注意

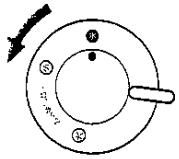
- 熱湯使用中あるいは使用直後は、湯出口管が高温になっていますので、手を触れないでください。
- 熱湯を使用の時は、湯出口管が振れることがありますので、手を近づけているときは、熱湯がかからないよう注意してください。
- 蒸気が激しく出るような状態で使用しないでください。蒸気の出ない位置までガス量調節ハンドルをもどしてください。
- キッチンシャワーをはずして使用しないでください。熱湯が周囲に飛び散りやけどのおそれがあります。
- 熱湯使用時は、キッチンシャワーを必ずストレート出湯にしてください。シャワーで使用するとやけどのおそれがあります。

使いかた

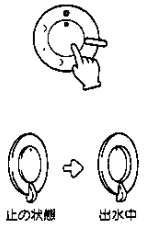
2 水の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

1 ガス量調節ハンドルを「水」にします。

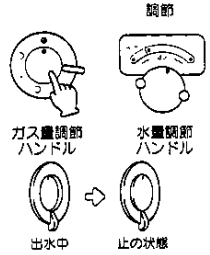


2 プッシュボタンの中央部を奥まで押します。

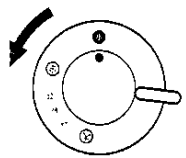
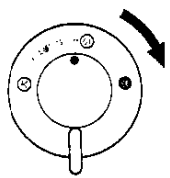


●キッチンシャワーより水が出ます。

3 水量調節ハンドルの「小」～「大」で調節します。
使用後は、プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



●キッチンシャワーより水が止まります。

お湯から水への切替	水からお湯への切替
使用中、ガス量調節ハンドルを「水」の位置に合わせると自動的に消火して水に切り替わります。	使用中、ガス量調節ハンドルを「小」～「大」の位置に合わせると自動的に点火してお湯に切り替わります。
	

使いかた

2 凍結予防のしかた

■冬期は、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のために機器内や配管内の水が凍結し、破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかります。(有料)
■冷え込みが厳しく凍結のおそれがあるときは、次の予防措置 1または 2 を行ってください。

予防措置1（機器内の水を抜く方法）

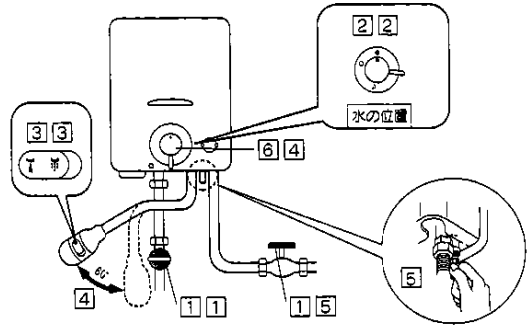
1. ガス栓・給水元栓を閉じる
2. ガス量調節ハンドルを「水」位置にし、水量調節ハンドルを「大」の位置に合わせます。
3. キッチンシャワーの切替ボタンをストレートにする
4. キッチンシャワーを60°に傾ける
5. 水抜き栓をはずす
6. プッシュボタンを押す

再びご使用になるときは、水抜き栓をしっかり閉じて、9・10ページの「初めて使うとき」に従って、お使いください。

予防措置2（水を流しっ放しにする方法）

1. ガス栓を閉じる
2. ガス量調節ハンドルを「水」位置にし、水量調節ハンドルを「大」の位置に合わせます。
3. キッチンシャワーの切替ボタンをストレートにする
4. プッシュボタンを押す
5. 給水元栓を少しずつ閉じる

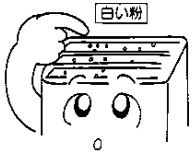
水量が1分間に牛乳ビン1本(200cc)程度(特に寒い日は、それ以上)流れるようにしてください。
水量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。



凍結したときの処置
凍結したときは、とけるのを待ってから15ページの「水の出しかた・止めかた」により
①水の出ること②水漏れのないこと③作動に異常のないことを確かめてからお使いください。

3 点検・お手入れ

点　検

点検項目	点検のしかた	処置
ゴム管は？	ひび割れたり、接続部がゆるんでいませんか。 	新しいゴム管と交換してください。
乾電池は？	プッシュボタンを押しても点火せず点火スパークが約5秒間続いたあとまたは、プッシュボタンを押した直後にお知らせランプが点灯していませんか。 乾電池の寿命はおよそ１年が目安です。	新しい乾電池を2個同時に交換してください。 (9ページ参照)
水フィルターの詰まりは？	お湯または水の出かたが悪くなっていませんか。	お手入れのしかたをご覧ください。
排気口部分は？	白い粉やススなどで汚れたり、使用時に不快なにおいがしていませんか。 	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに点検・修理を依頼してください。(有料)

定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、安全により長く、ご使用いただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

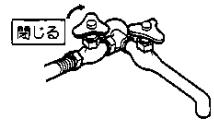
■ガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。
■けがをしないよう手袋などをして行ってください。
■お手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。

お手入れ

お手入れ箇所	お手入れのしかた
●前板 ●後板 ●排気フード	やわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。 ●金属タワシ、スポンジタワシ、ミガキ粉、シンナーなどは表面の光沢や印刷文字が消えたり、機器にキズがついたりする原因になりますのでご使用にならないでください。 ●後板と壁の間に指を直接入れないでください。
●水フィルター	水フィルターのそうじを行ってください。

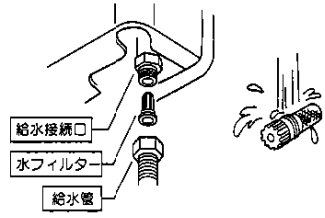
水フィルターのそうじ

1 給水元栓を閉じる。

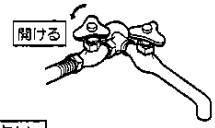


2 給水管を外し、水フィルターを引き出し、そうじする。

3 水フィルターを差し込み、給水管を取り付ける。



4 給水元栓を開ける。



水漏れのないことを確認してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

▣故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。
▣故障かな？と思ってもよく調べると故障でない場合があります。

こんなとき	原　因・理　由	参　照
ガスの臭いがする いやな臭いがする	ただちに使うのをやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。	
	●ゴム管の接続が不完全だったり、ひび割れや穴があいていませんか？	3
	●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがありませんか？	2
黄炎で燃える 炎が安定しない	●換気は十分にされていますか？	1
異常音をたてて燃える	●給水元栓が全開になっていますか？	9
点火しない 点火しにくい 消火する	●ガス栓が全開になっていますか？	10
	●乾電池が消耗していませんか？	17
	●プッシュボタンを奥までいっぱいに押していますか？	9
使用中、火が消える	●換気は十分にされていますか？	1
	●点火してから20分以上たっていませんか？	11・21
お湯の出が悪い	●給水元栓が全開になっていますか？	9
	●給水元栓接続口内部にあるフィルターのゴミ詰まりが原因と考えられます。お買い上げの販売店またはもよりの大阪ガスに相談してください。	ー

こんなとき	原　因・理　由	参　照
点火・消火を連続に行うと、お知らせランプが一瞬光る。	機器の性能上のもので故障ではありません。	ー
熱湯にすると、お湯が白くなることがある。	水には空気が含まれていて、加熱すると気泡となってあらわれるためで、異常ではありません。	ー
点火してもしばらく、パチパチと音がする。	点火を確実にするため手をはなしてから2～3秒パチパチしつづけます。	ー
高温あるいは熱湯に設定して使用すると「シャー」という音がする。	お湯がわく音で異常ではありません。	ー
出湯停止後、「チリ、チリ」という音がする。	熱による膨張・収縮音で異常ではありません。	ー
「プッシュボタン」を押したとき「ポッ」という音がする。	点火音で異常ではありません。	ー
お知らせランプが点灯する。	出湯操作時にお知らせランプが点灯するときは、下記のいずれかの原因です。	
	①乾電池の交換が必要なとき。	9
	②ガス栓が閉まっているとき	10
	③安全装置が作動したとき	21

安全装置のはたらき

安全装置の種類とはたらき

この機器には、次のような安全装置が付いています。

安全装置	はたらき
立消え安全装置	万一、バーナーの炎が消えたとき、この安全装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
不完全燃焼防止装置	部屋の換気不足や熱交換器のつまりなどにより不完全燃焼となる前に、この装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
過熱防止装置（温度ヒューズ）	使用中、機器内の温度が異常に高くなったとき、この安全装置が働いて、自動的にガスを遮断します。
消し忘れ防止装置	「つい、うっかり」消し忘れた場合、約20分後に自動的に消火します。（水は止まりません。）

安全装置が作動したときの処置方法

- 使用時にバーナーの消火に気付かれたときは、すぐにプッシュボタンを押して消火・出湯停止操作をしてください。（9ページ参照）
- 再点火するときは、すぐに点火せず、戸や窓を開いて換気し、しばらく(10分位)待ってから点火・出湯操作をしてください。
- 不着火や途中消火がたびたび起こる場合は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
不完全な処置や異常がある状態で使い続けますと事故のもとになります。

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 19～20ページの「故障かな？と思ったら」を見て、もう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品　名　ガス小型湯沸器
2. 大阪ガス商品コード　例 (N) 33-063 大阪ガス株式会社 □□
（機器前面中下に貼付してあります。）
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・連絡（できるだけ詳しく）

転居される場合

<u>ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。</u>

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証、補修について

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。
修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

- 補修用部品の最低保有期間は、当製品の製造打ち切り後6年です。
その後の修理は補修用性能部品がなく、修理できない場合がありますので、ご了承ください。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

品名		ガス小型湯沸器
商品コード		33-063
型式名		YR532
種類	給(出)湯方式	元止め式
	給排気方式	開放式
点火方式		連続スパーク
最低作動水圧		34.3kPa (0.35kgf/㎠)
使用水圧		49.0～686kPa (0.5～7.0kgf/㎠)
排気温度		260℃以下
外形寸法		358mm×288mm×135mm
重量(本体)		5.7kg
接続	給水	15A (G1/2)
	ガス	都市ガス用φ13㎜ゴム管接続口 LPガス用φ9.5㎜ゴム管接続口 (R1/2TUねじ接続可能)
安全装置		立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱防止装置・消し忘れ防止装置
付属部品		湯出口管セット・木ねじ(3本)・乾電池(単1×2本)

ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量 kW	出湯能力ℓ/分 (ガス消費量最大時) 上野温度	
		最大	25℃	40℃
都市ガス	13A	11.0 (9,500kcal/h)	(5.1)	(3.2)
LPガス		11.2 (0.80kg/h)	(5.1)	(3.2)

備考 ●出湯能力は給水圧力147kPa (1kgf/㎠) のとき。
●ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

メモ